

登別消協だより

登別消費者協会 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センター内

電話・Fax (0143) 85-8307

令和7年度定期総会終わる

令和7年度 登別消費者協会 定期総会

令和7年度定期総会を4月21日、登別市総合福祉センター
しんた21で、本人出席42人のもと開催しました。

冒頭山田則子会長の挨拶では、市民活動が活発になってコロナ
前の状態に戻りつつある中、私たちを取り巻く環境は連日厳しい
様子を示しております。



昨年夏からの令和の米騒動と称される「米」が売り場から消え、出てきたと思うと例年の倍以上
になり、商品が次々値上がりしています。今は備蓄米の行方がどうなるのか注目されています
し、物価は天井知らずでどんどん上がっていきます。それに加えて特殊詐欺が横行して、被害額
が高くなっていますし、言葉巧みに劇場型のストーリーで入り込んでいます。

電話をかけるとナビダイヤルになったり、買い物ではセルフ決済でお財布片手にお札をどこに
入れるのか迷われている利用者さんを見かけます。

私たちの日常は日々変化しており、現金で買い物をしなくなった若者が増えています。取り残
されないように私たちもスマホの操作、ボタン操作に慣れることが求められています。正しい情
報を素早くお知らせし、慌てずに対応できるようにしてまいります。

来賓として、登別市副市長の千葉浩樹様、北海道議会議員の赤根広介様、登別市議会議員の辻
弘之様、登別商工会議所専務理事の山谷桂司様からそれぞれご挨拶を頂いた後、議案の審議に入
り令和6年度の事業及び収支決算並びに監査報告、令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)に
ついて審議され承認を頂きました。今年は当協会も創立50周年を迎える節目の年になります。

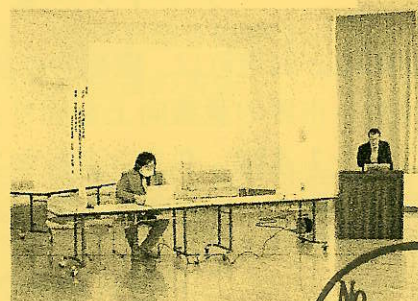
ことから、記念事業として、基調講演の開催や記念式典の開催、記念誌の発行を行うことを発表しまし
た。更には、消費生活展も例年にも増して盛沢山の情報をお知らせしていく予定です。

最後に、役員の改選期にあたることから、山田則子さんが会長に再任されました。

令和7年度研修会でごみの減量と分別について学ぶ

総会終了後、登別市市民生活部環境対策室長の田中弥寿雄氏
から、「ごみの減量と分別～持続可能な登別市を目指して～」と
題して講演を頂きました。

講演では、登別市がゼロカーボンシティに挑戦している背景を
踏まえ、ごみの減量化は不可欠であることに触れ、さらなる分別
強化への必要性を学びました。



～第1回くらしの安全・安心セミナーを開催します～

カスハラとは、顧客が企業に対して理不尽なクレーム・言動(具体的には、事実無根の要求や法的根拠のない要求、暴力的、侮辱的な方法による要求)をすること。

講演会 演題 登別市カスハラの現状について

講師 登別市総務部人事グループ総括主幹 佐竹 徹哉 氏

と き 令和7年7月14日(月) 10:00～12:00 ところ 市民会館大会議室

参加費 200円

参加申込 7月 8日(火曜日) まで 消費者協会 85-8307

消費者月間「消費者の日」街頭啓発活動を実施しました!

5月の月間統一テーマ～デジタル時代の求められる消費者力とは～

〈市内高等学校等での啓発〉

5月12日(月)7時30分から消費者月間として、登別明日中等教育学校生徒玄関入口前で小雨の降る中、若者を狙った特殊詐欺に対する街頭啓発を行いました。

当日は、小笠原市長をはじめ辻市議会議長や市の担当職員の参加いただき、スマホによる悪質サイトへのアクセスの注意を呼びかけるなど、リーフレットや相談窓口の連絡先を記載したポケットティッシュを配布しました。

又、登別青嶺高等学校へも啓発物品を届け、学校で指導しながら生徒さんに配布していただきました。



〈市内大型店での啓発〉

5月31日(土)10時から市内大型店5店舗(イオン登別店、マックスバリュ登別店、コープさっぽろしがイースト店、コープさっぽろのぼりべつ東店、ラルズホームストア幌別店)で街頭啓発を行いました。特に、コープさっぽろしがイースト店では小笠原市長をはじめ、市議会の小栗副議長、戸井議員、金澤議員の参加協力を得ながら「あなたを狙う振り込め詐欺にご用心!」のパンフレットとティッシュペーパーを配布しましたが、来店者の方々からは、「気を付けています」と心良く受け取っていただきました。多くの方々は、日頃から気を付けていることに関心の高さを感じました。



リサイクルまつり'25イン登別・白老が開催されます!

登別市と白老町は、廃棄物の排出抑制や減量化、ゴミの正しい分別、リサイクルの普及啓発などに対する市民の意識向上を図り、循環型社会・脱炭素社会の形成を目的として、7月13日(日)10時～14時 クリクルセンターにおいて、リサイクルまつり'25イン登別・白老が開催されます。皆さんも家庭から排出される「ゴミ」について今一度認識を新たにしてみませんか?

消費者協会の参加内容

- ★絵手紙の作製
- ★マイバッグの展示販売
- ★SDGs
- ★古衣料の回収
- ★ホット及びアイスコーヒーの販売



製品が廃棄されたときに分別収集して資源として再利用する際の見印となるマーク

胆振消費者協会連合会の定期総会及び研修会を開催して

《定期総会》

5月27日(火)10時から登別市民会館において、苫小牧・室蘭・登別・伊達4市の消費者協会で構成している胆振消費者協会連合会の定期総会を開催しました。

冒頭、山田則子会長の挨拶の後、千葉浩樹登別市副市長から祝辞を頂きました。引き続き、(一社)北海道消費者協会会長からのメッセージを紹介しました。審議に入り、令和6年度事業及び収支決算報告、令和7年度事業計画及び収支予算が承認され無事定期総会が終了しました。

《研修会》

定期総会終了後、「救急活動～救急要請の現状と新たな課題・救急司令センター共同運用～」について、登別市消防署警備グループ救急主幹 消防司令猪股昌史氏を招き、研修会を開催しました。

胆振管内4市の救急統計で救急車の出動状況をはじめ、どんな時に救急車を呼べばいいのか、もしもの時にどうすればいいのか、10月から始まる救急司令センターの共同運用後のイメージ説明があり、参加者から大変参考になったとのご意見が寄せられました。



会員日帰り研修旅行を終えて

6月6日(金)会員14名が8時00分に市バスに乗り視察研修旅行に出発しました。平取町はアイヌ語でピラ・ウトウル(崖の間の意味)から由来し、明治32年門別戸長役場から分置され、大正12年には平取村となり、昭和29年平取町となりました。

平取町はアイヌ文化の色濃く残るまちですが、登別とは江戸時代の漁業の繁忙期には手助けに来るほか、昭和時代には熊牧場に夏季の踊り手などして半年出稼ぎに来るなど縁の深いまちでした。

今回の二風谷アイヌ文化博物館では、木彫りやアイヌ民族衣装、そして生活用品をアイヌ語を交えて説明して頂いて、アイヌ文化に触れることが出来ました。アイヌ工芸伝承館(ウレシバ)では、作家の方々の作業を見たり、ネックレスやキーホルダーの有料体験を楽しみました。

この後、JA びらとり農産物直売所に立ち寄り、びらとりトマトや農産物の説明を聴きながら買い物を楽しむ会員の姿がありました。お昼は和牛専門店くろべこで、びらとり和牛のランチに舌鼓を打つ美味しさで、まったりした甘味の肉の旨みは別格でした。

帰路は道の駅ウトナイ湖に行き、展望台でラムサール条約登録地であるウトナイ湖の眺望を楽しんだり、アイヌ工芸品など見て目の保養をしてきました。往復のバスの車中でも普段と違い、ゆったりと話しながら会員同士の交流を深められました。

これからも色々と勉強会や行事がありますが、皆さまの積極的な参加をお待ちしております。



行事予定

月 日	行 事	時 間	会 場
7月10日(木)	3歳児健康診査時啓発	12:00～13:00	総合福祉センター
7月13日(月)	リサイクルまつり25イン登別・白老	10:00～14:00	クリンクルセンター
7月14日(月)	くらしの安全・安心セミナー	10:00～12:00	市民会館大会議室
7月28日(月)	第47回登別消費生活展打合せ会議	13:00～14:30	総合福祉センター
8月 6日(水)	第1回商品試買量目調査	10:00～12:00	総合福祉センター調理実習室
8月15日(金)	年金支給日啓発	9:30～	市内大型店4店舗
8月21日(木)	3歳児健康診査時啓発	10:00～15:00	総合福祉センター
8月26日(火)	第2回胆振消協連理事会	10:00～12:00	ミンクール

価 格 調 査 (6月4日現在)	品 名	区 分	安値～高値 (円)	店舗数
	LPガス	基本料金	1,800～2,640	10店舗
		5m ³	4,796～8,393	
		10m ³	7,392～12,705	
	ガソリン	フルサービス	157～173	7店舗
		最 多 価 格	172	4店舗
		セルフサービス	156～175	6店舗
		最 多 価 格	157 171	各2店舗
	灯 油	配 達	112～135	21店舗
		最 多 価 格	125	4店舗

コメント:前月の調査に比べ、灯油の平均価格は119.6円で8.3円値下がり、ガソリンの平均価格(フルサービスとセルフサービスの合計)は167.5円で6.7円の値下がり、LPガス5m³の平均価格は6,107.3円で1.9円の値下がりとなり全体的に安値となっています。

特殊詐欺1億6千万円被害阻止!!

SNS型詐欺・ロマンス詐欺にも注意を!

北海道で1～4月の間、特殊詐欺に被害を防いだのは、88件で総額約1億6,880万円で、職員の声掛けで金融機関が40件、コンビニが41件その他が7件となっている。

北海道警察では、被害防止策として金融機関などと連携を強化し、高額振り込みや引き出し、複数回の電子マネー購入への注意を呼び掛けしている。



編集後記

定期総会も無事終了し、新年度がスタートしました。米をはじめ食品の値上げが続いていますが、これからも、日常生活に関わる情報についてお知らせしていきたいと思っておりますので、活動に対して特段のご理解とご協力をお願いします。

今野 米田 山田 森谷
鳥海 小野

登別市消費生活センター 85-3491
登別消費者協会 85-8307